

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 (第5回協議会)

1 岩手県における大規模氾濫減災対策協議会

2 防災・減災のための主な取組

- (1) 水位周知河川の指定
- (2) 洪水浸水想定区域の指定
- (3) ホットラインの運用
- (4) タイムラインの作成
- (5) 簡易型監視カメラ

3 最近の話題

～危機管理型水位計の運用開始～



H28.8.30台風第10号豪雨 小本川 褰野地区

令和元年5月29日
岩手県 県土整備部 河川課

1 岩手県における大規模氾濫減災対策協議会

〔協議会の概要〕

- ・ 減災のための目標を共有し、
「ハードとソフト対策」を一体的・計画的に推進
- ・ 水位周知河川など5カ年計画の決定と取組状況の
フォローアップの実施
- ・ 対象：全ての県管理河川（312河川）
- ・ 構成員：国、県、市町村長

- ・ 平成30年5月、6月
（内容）法定協議会への移行、取組内容の確認等
- ・ 平成31年1月、2月
（内容）洪水HMの周知と普及拡大、要配慮者利用施設
の避難確保計画の作成促進、意見交換等

協議会の圏域区分図



協議会	主な対象河川	構成員	備考
三陸圏域 洪水減災対策 協議会	【二級水系】 久慈川水系、小本川水系、 閉伊川水系、甲子川水系、 気仙川水系等 42水系99河川	県：総務部長、県土整備部長、 沿岸広域振興局土木部長等 市町村：宮古市長等（13市町村長） 国：盛岡地方気象台長 （アドバイザー）東北地方整備局	新設
馬淵川米代川 新井田川圏域 洪水減災対策 協議会	【一級水系】 馬淵川水系 馬淵川等 米代川水系 米代川等 【二級水系】 新井田川水系 雪谷川等 3水系29河川	県：総務部長、県土整備部長、 二戸土木センター所長等 市町村：二戸市長等（6市町村長） 国：盛岡地方気象台長 （アドバイザー）東北地方整備局	新設
北上川上流 洪水減災対策 協議会	【一級水系】 北上川水系 北上川、 岩崎川、猿ヶ石川等 【二級水系】 大川水系 大川等 津谷川水系 津谷川 3水系184河川	県：総務部長、県土整備部長、 盛岡広域振興局土木部長等 市町村：盛岡市長等（15市町長） 国：岩手河川国道事務所長、 北上川ダム統合管理事務所長、 盛岡地方気象台長	既存の 協議会 を拡大

2 防災・減災のための主な取組

(1) 水位周知河川の指定

〔現状〕 (R1.5月29日現在)

指定数 36河川 45区間

〔基本方針〕

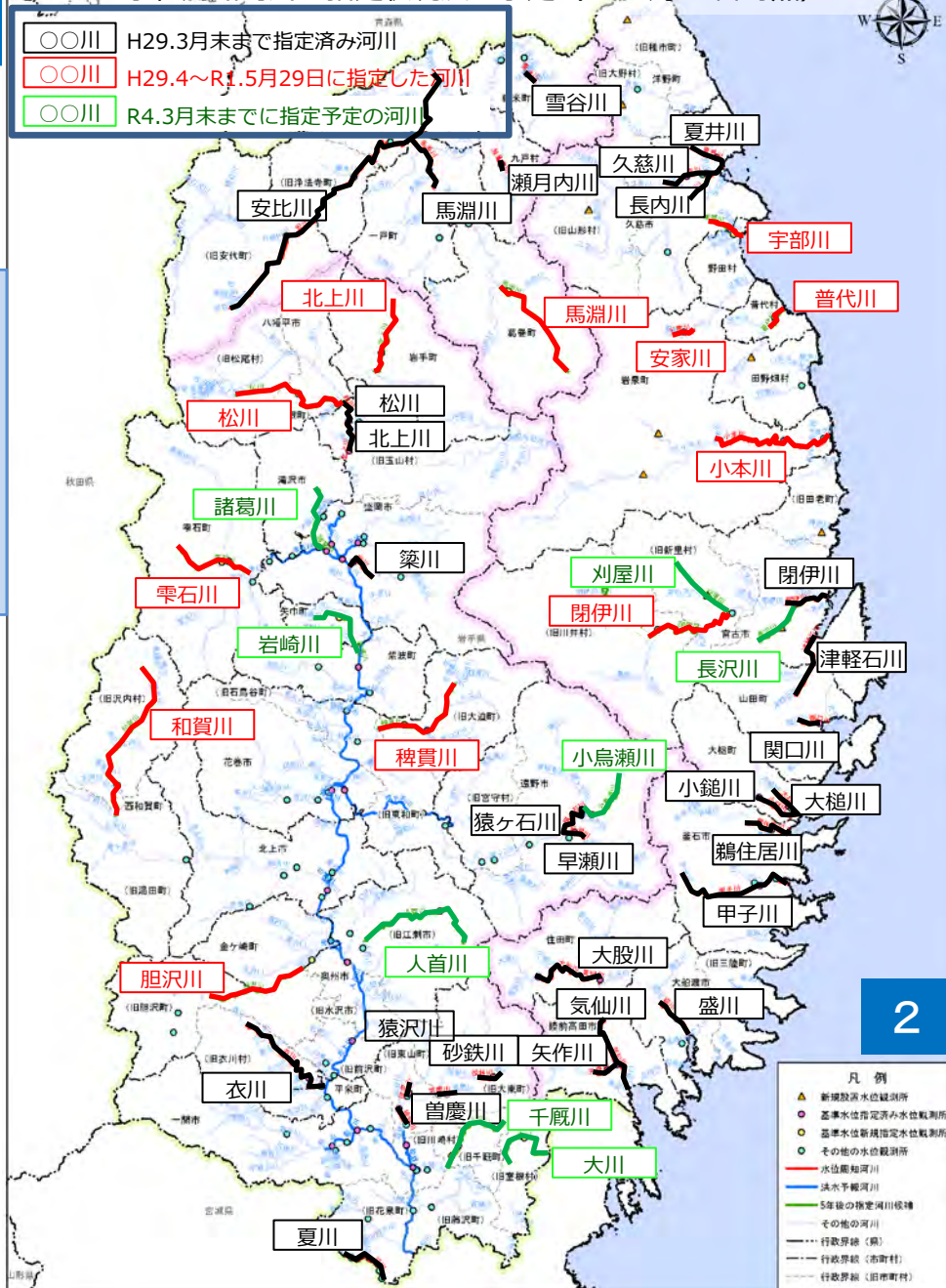
- ① 5カ年で20河川の指定
- ② 県内の防災拠点や資産集中区域をカバーするため、未指定の市町村(旧市町村)の河川を指定
- ③ 平成28年台風第10号で甚大な浸水被害を受けた河川
- ④ 近年の洪水実績のある河川

指定状況 (R1.5月29日時点)

H29.3月末までに指定済	28河川	32区間 (馬淵川、安比川含む)
H29.4月～R1.5月29日までに指定済	12河川	小本川 (岩泉町) 安家川 (岩泉町) 稗貫川 (花巻市) 松川 (八幡平市) 胆沢川 (奥州市) 雫石川 (雫石町) 馬淵川 (葛巻町) 北上川 (岩手町) 和賀川 (西和賀町) 閉伊川 (宮古市) 普代川 (普代村) 宇部川 (野田村、久慈市)
R4.3月末までに指定予定	8河川	千厩川 (一関市) 大川 (一関市) 諸葛川 (滝沢市、盛岡市) 岩崎川 (紫波町、矢巾町) 人首川 (奥州市) 刈屋川 (宮古市) 長沢川 (宮古市) 小烏瀬川 (遠野市)
合計	44河川	

注) 2017.3月末までに指定済で5カ年の計画では区間追加のみとなる河川があり、指定河川数の計は44となる

水位周知河川の指定状況及び予定 (R1.5月29日時点)



2 防災・減災のための主な取組

(2) 洪水浸水想定区域の指定

〔現状〕 (R1.5月29日現在)

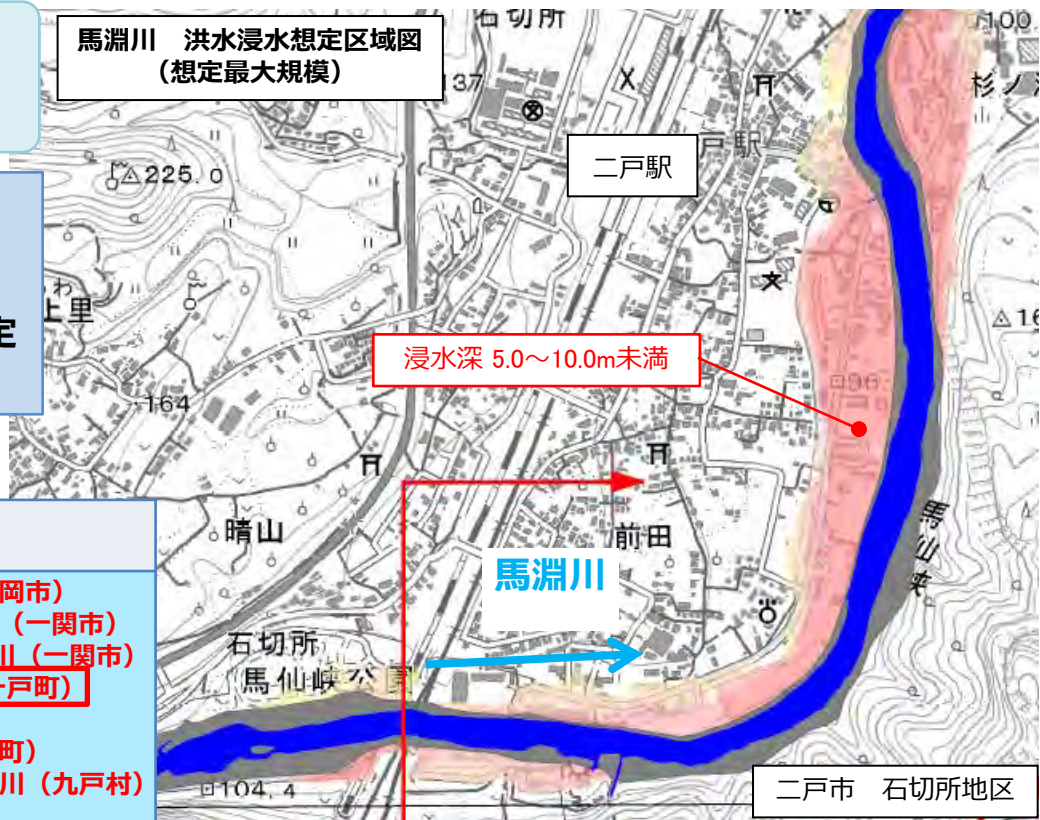
指定数 19河川 (想定最大規模)

〔基本方針〕

- ① 水位周知河川に指定済みの河川において、5カ年で20河川の指定
- ② 北上川水系の県管理河川は、国管理区間の指定との連続性を確保 (①に加え10河川)

〔5カ年計画〕 30河川

H29.3月末までに指定済	0河川	
H29.4月～R1.5月29日までに指定済	19河川	築川 (盛岡市) 北上川 (盛岡市) 松川 (盛岡市) 猿ヶ石川 (遠野市) 早瀬川 (遠野市) 夏川 (一関市) 砂鉄川 (一関市) 曾慶川 (一関市) 猿沢川 (一関市) 衣川 (奥州市、平泉町) 馬淵川 (二戸市、一戸町) 安比川 (二戸市、八幡平市) 気仙川 (陸前高田市、住田町) 大股川 (住田町) 小本川 (岩泉町) 雪谷川 (軽米町) 瀬月内川 (九戸村) 甲子川 (釜石市) 鶴住居川 (釜石市)
R4.3月末までに指定予定	11河川	盛川 (大船渡市) 閉伊川 (宮古市) 矢作川 (陸前高田市) 津軽石川 (宮古市、山田町) 安家川 (岩泉町) 久慈川 (久慈市) 夏井川 (久慈市) 長内川 (久慈市) 大槌川 (大槌町) 小鏡川 (大槌町) 関口川 (山田町)
合計	30河川	※年次計画は予算の状況等により変更があるもの。



住民説明会 (一関市 夏川)



住民説明会 (岩泉町 小本川)

〔指定後の対応〕

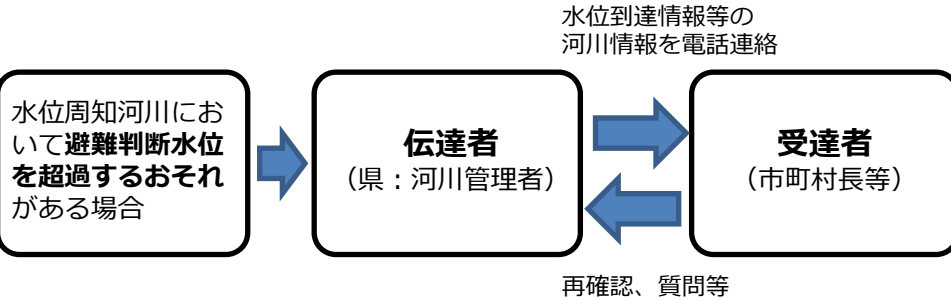
- ・ 説明会を実施し、住民の皆様には地域の水害リスクの理解と市町村の洪水ハザードマップ作成を支援

2 防災・減災のための主な取組

(3) ホットラインの運用

ホットラインのフロー図

平成29年6月1日から、水位周知河川で運用開始

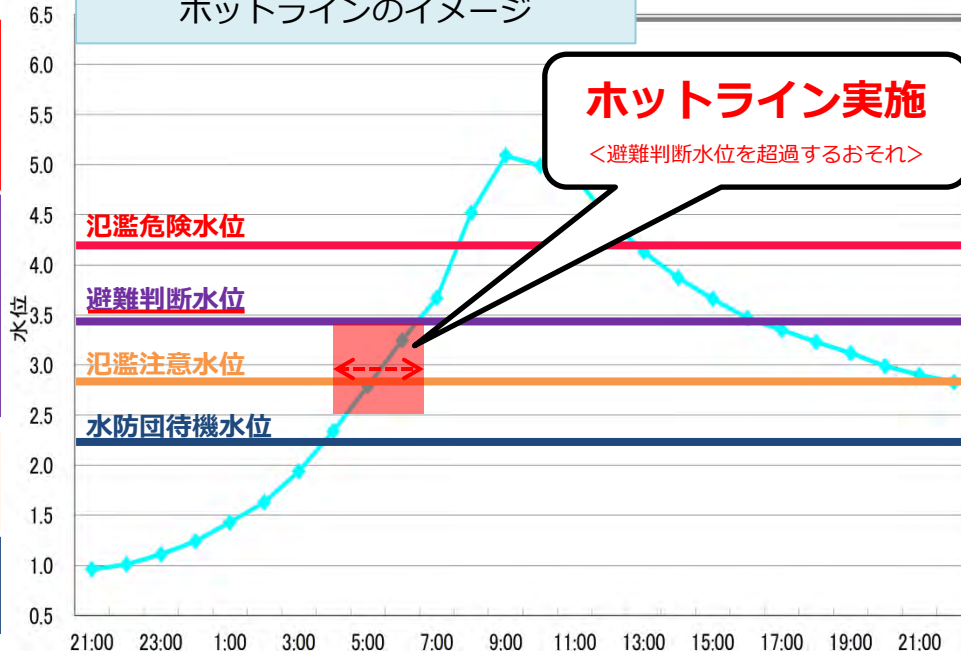


〔H30実績〕 延べ 20市町村へ実施

※昨年度、5回中4回が馬淵川水系

日付・事象	河川名	観測所	市町村
5/18~19 大雨	3河川 安比川、馬淵川、松川	4箇所	3市 二戸市、八幡平市、盛岡市
8/6 大雨	1河川 衣川	1箇所	2市町 奥州市、平泉町
8/15~16 大雨	4河川 瀬月内川、馬淵川、安比川、夏井川	6箇所	5市町村 九戸村、一戸町、二戸市、八幡平市、久慈市
9/10 大雨	1河川 安比川	1箇所	2市町 二戸市、八幡平市
10/1 台風第24号	8河川 安比川、馬淵川、松川、北上川、衣川、小本川、閉伊川、気仙川	9箇所	8市町 八幡平市、二戸市、盛岡市、奥州市、平泉町、岩泉町、宮古市、陸前高田市

ホットラインのイメージ



ホットラインの体制構築 (例)

○伝達者 (県)

	役職
第1順位	広域振興局土木部長等
第2順位	広域振興局土木部等の河川担当課長
第3順位	広域振興局土木部等の管理担当課長

○受達者 (市町村)

	役職
第1順位	市町村長
第2順位	市町村の危機管理部門の長
第3順位	市町村の危機管理部門の担当課長

2 防災・減災のための主な取組

(4) タイムラインの作成

〔現在の取組状況〕 (R1.5月29日現在)

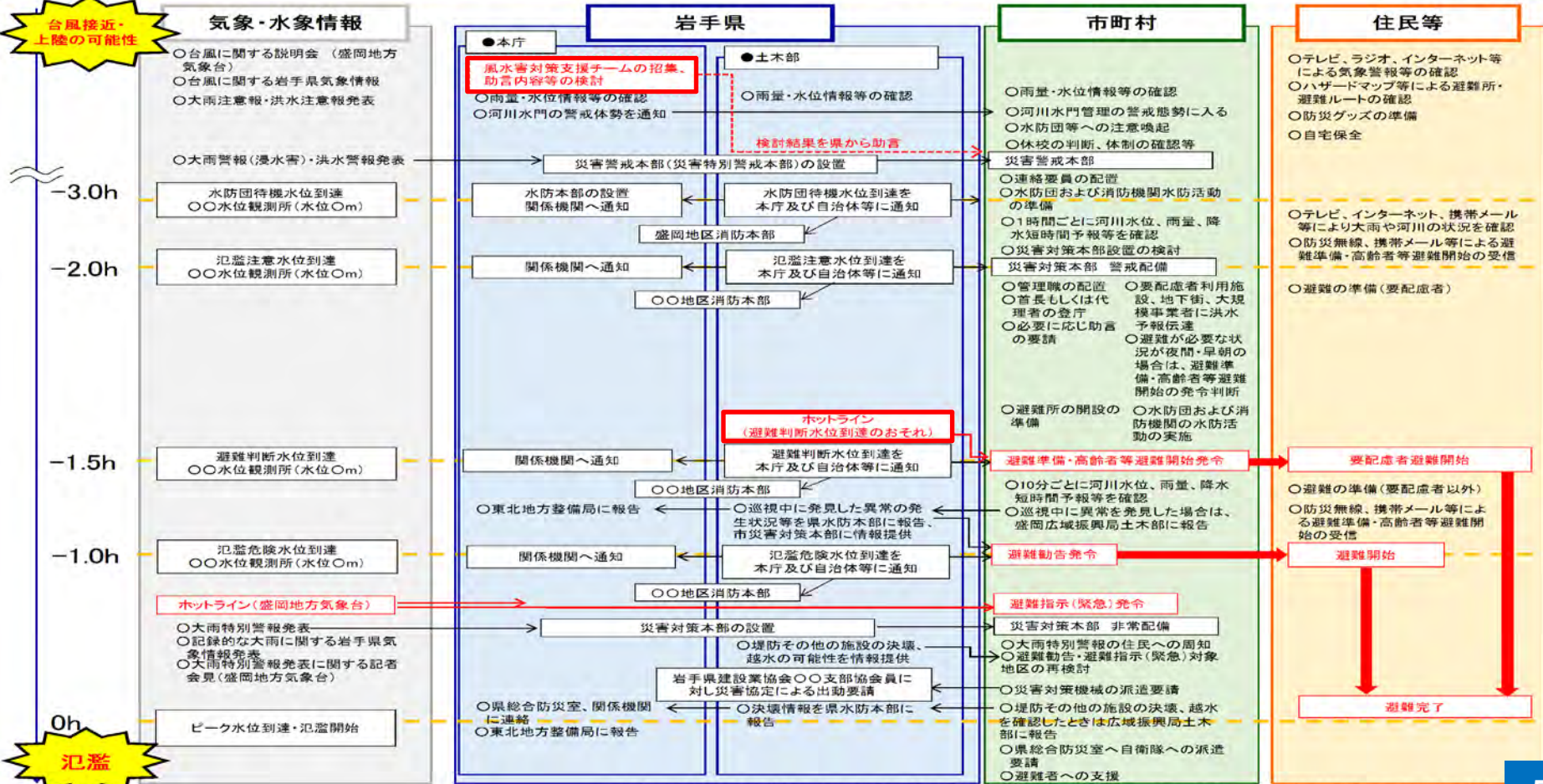
18市町村29河川で作成・運用開始済み。

(馬淵川水系作成・運用開始済み：二戸市、一戸町)

タイムラインの作成例

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、避難勧告の発令等に着目した**タイムライン**(防災行動計画)

○ ○ 川
○ ○ 水位観測所



※ 気象・水象情報に関する発表のタイミングは異なる場合がある。また、災害の状況によっては上記によらず必要な防災行動をとる必要がある

2 防災・減災のための主な取組

(5) 簡易型監視カメラ

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成 31 年 3 月 27 日

水管理・国土保全局河川環境課

身近な河川の画像情報で、洪水時の切迫感を伝えます

～「簡易型河川監視カメラ」現場実装へ～

国土交通省が、革新的河川技術プロジェクト*(第3弾)として、

- ・機能を限定して低コスト化を図ることで、中小河川にも普及を促進する
 - ・多くの画像情報を取得し住民に提供することで、適切な避難判断を促す
- ことを目的に、民間企業等と「簡易型河川監視カメラ」の開発を進めてきました。この度、民間企業等と進めてきた開発が完了しました。今後は各地方整備局等において順次、現場での実装を進めてまいります。

*視覚ニーズに基づいた要求水準を明示し、官主導オープンイノベーションにより企業間の協働を促進するプロジェクト

- 平成 30 年 7 月豪雨災害の報道等では、「避難を呼びかけたが避難に結びついていない」、「各種の警告情報が流れる中、どのタイミングで逃げればよいのかわからない」等の意見がある一方、「川沿いに設置した監視カメラの映像を見て避難につながった」との事例がある等、住民の情報把握において、「住民に切迫感を伝えるために何ができるか」が課題となっています。
- 今後、「水防災意識社会の再構築に向けた緊急行動計画」に基づき、2020 年度末までに「簡易型河川監視カメラ」を約 3700 箇所設置し、より身近な画像情報の提供で住民に切迫感を伝えます。【資料1】



試験計測状況(上段)と撮影された画像(下段)

開発した機器の公募時の技術仕様への適合状況、実証時の撮影画像については、国土交通省ホームページをご覧ください。【資料2】 (http://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/innovative_project/index.html)

【問合せ先】

水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室 課長補佐 西尾 (内線: 35468)
 保全技術係長 鬼頭 (内線: 35466)
 代表: 03-5253-8111 直通: 03-5253-8448 FAX: 03-5253-1603

〔現在の取組状況〕

**県管理河川において、今年度、水位周知
 河川の危険箇所等を中心に設置を進める**

簡易型河川監視カメラ(概要)

【資料1】

【目的】

氾濫の危険性が高く、人家や重要施設のある箇所に「簡易型河川監視カメラ」を設置し、河川状況を確認することで、従来の水位情報に加え、リアリティーのある洪水状況を画像として住民と共有し、適切な避難判断を促す。

【特徴】

- **屋外に容易に設置** (無線式の場合は電源・通信ケーブルの確保不要)
- **機能を限定しコストを低減**
 (ズームや首振り機能は削除。機器本体価格は、**30万円/台程度**)

【現状及び今後の予定】

- 開発19チーム(29者)により機器開発完了。機器特性をとりまとめ公表。
- **順次現場へ実装し、HPで公開予定。**

参加チーム・企業グループ(順不同): 19企業グループ

①CIM解決研究会、②(株)シーティーエス、③日立国際電気、mtes Neural Networks、トツパン・フォームズ、④西尾レントオール、⑤(株)サイバーリンクス、⑥(株)みどり工学研究所、⑦(株)建設技術研究所・(株)エースプロモーション共同提案グループ、⑧パシフィックコンサルタンツ(株)・(株)クレアリンクテクノロジー・(株)アラソフトウェア・(国研)情報通信研究機構、⑨五大開発・情報システム総合研究所合同チーム、⑩三菱電機エンジニアリング(株)、⑪(株)イートラスト、⑫OKI、⑬三井共同建設コンサルタント(株)、(株)JMI、⑭TOA(株)、⑮キョウワタクト(株)、(株)クリューシステムズ、⑯坂田電機(株)、⑰日本工営(株)、⑱東芝インフラシステムズ(株)、⑲ソフトバンク(株)、ハイテクインター・東芝インフラシステムズ(株)

3 最近の話題

危機管理型水位計の運用開始



令和元年 5月 23日
県土整備部 河川課

県政記者クラブ各位

危機管理型水位計の運用開始について

【要旨】

低コストで洪水時の水位観測に特化した危機管理型水位計については、平成30年度までに県内325基 260河川にて設置したところですが、設置後の調整が完了し、5月24日（金）から運用を開始することとしましたのでお知らせします。

これにより、河川水位観測箇所が大幅に増加することから、住民の迅速な避難行動につながることを期待されます。

1 河川水位観測箇所数について (参考1 参照)

河川水位観測箇所数	危機管理型水位計		通常水位計	
	箇所数	河川数	箇所数	河川数
457箇所 277河川	325箇所	260河川 ※1	132箇所	72河川 ※2

※1 危機管理型水位計 325箇所には、平成30年9月11日に運用開始した2基（小本川、安家川）を含みます。

※2 岩手県河川情報システムで公開している水位計数で、国土交通省等が管理するものを含みます。

※3 危機管理型水位計は、通常水位計と比べ、汎用部品の活用により設置費用が削減されるほか、洪水時の観測に特化することにより維持管理費用が大幅に低減されます。

注) 河川数の計は、重複があるため一致しません。

2 危機管理型水位計の設置効果について

今回の運用により、河川水位観測箇所が大幅に増加し、今まで水位計が設置されていなかった河川の水位情報を確認できるようになり、住民の迅速な避難行動につながることを期待されます。

3 河川水位情報の確認方法について

運用開始後は、WEBサイト「川の水位情報」(<https://k.river.go.jp/>)にて河川水位情報を確認できます。パソコンやスマートフォンにてご利用いただけます。



QRコード

参考1

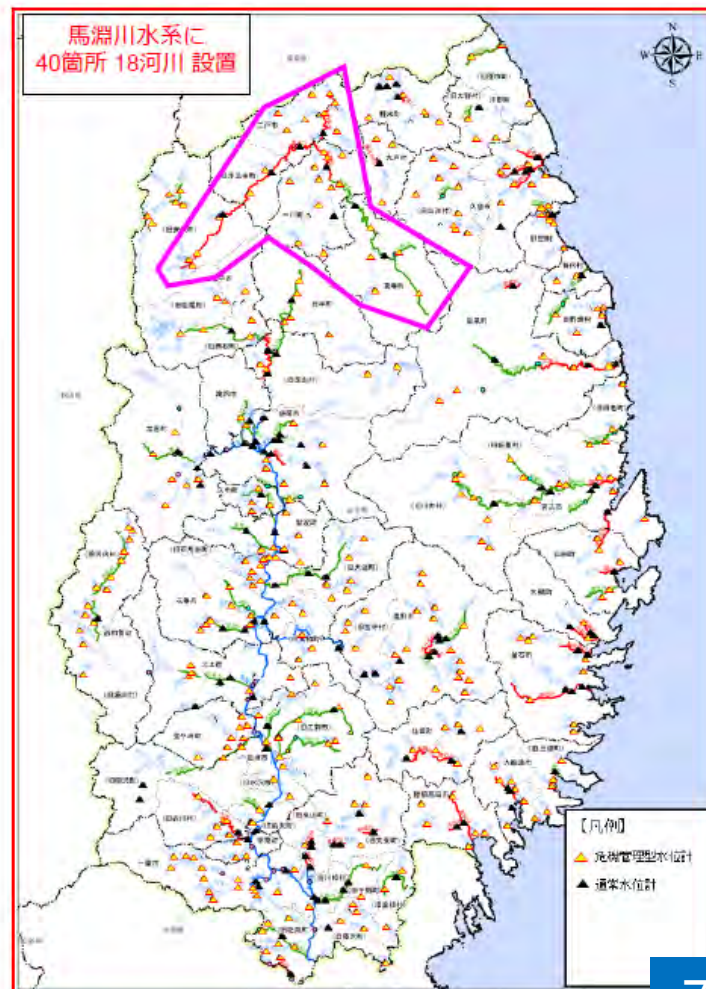
危機管理型水位計設置箇所について

下記のア〜ウに該当する箇所を中心に設置しました。

ア、既設の水位計を含め、水位計が未設置の河川

イ、延長の長い河川であれば、既設の水位計を含め10km毎に1基

ウ、市街地や集落を形成している箇所



危機管理型水位計設置箇所図